

江南市放課後子ども総合プラン運営委員会(第2回)

●開催年月日 令和5年2月14日(火)

●場 所 江南市役所 第3委員会室

●出席者 出席委員 10名

会 長	伊 藤 鶴 吉
委 員	今 井 真 澄
委 員	岸 野 宏 行
委 員	鬼 頭 尚 美
委 員	倉 橋 高 宏
委 員	高 橋 正 博
委 員	長 井 容 子
委 員	永 田 裕 美
委 員	平 松 結 華
委 員	梅 本 孝 哉

欠席委員 2名

委 員	川 井 栄 治
副 会 長	瀬 上 圭 太

説明のため出席した職員

教 育 長	村 良 弘
こども未来部長	貝 瀬 隆 志
こども政策課長	稲 田 剛
こども政策課主幹	栗 本 真由美
こども政策課副主幹	丹 羽 克 仁
こども政策課副主幹	大 脇 宏 祐

事務職員 こども政策課主査 田 中 なおみ

傍聴人 0人

議題

- (1) 令和5年度放課後子ども教室推進事業計画（案）について（資料1）
- (2) 令和5年度放課後児童健全育成事業計画（案）について（資料2）
- (3) 令和5年度放課後子ども総合プラン事業計画（案）について（資料3）

報告

- ・令和5年放課後子ども教室申込状況及び令和5年度学童保育所申込状況について（参考資料）

午後2時 開会

1. 教育長あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 議題

- (1) 令和5年度放課後子ども教室推進事業計画（案）について（資料1）

事務局説明

質疑

会長 避難訓練について、先日、トルコで震度7.5という大地震が起こりビルなどの建物が倒壊していたが、子ども達がいる建物は大丈夫なのか。また、避難訓練は、どのような指導をしているのか。

事務局 放課後子ども教室は学校の教室を利用して実施している教室が多く、基本的に学校は耐震診断を実施しておりますし、耐震強度については、震度6強の地震があったとしても倒壊することはないと考えております。

避難訓練につきましては、安全管理員等が事前に屋外のどこを避難場所として集合するか、またどういった経路で避難していくかという計画を立てまして、計画に沿って落ちていく子ども達を安全な場所へ誘導するように実施しております。一部、落ち着きがない子どもがいるなどの話しは聞いておりますが、概ね大きな問題はないと聞いております。

会長 避難時に机の下に入るのと屋外に逃げるのとでは、どちらが安全かというデータなどはあるのでしょうか。

事務局 まず地震で揺れているという状態の中、落下物を防いでいくというのが原則であります。揺れが収まった後で一斉に避難経路を使って外へ避難となりますので、地震が想定される訓練時は、机の下に入り頭を守る、それから揺れが収まれば安全管理員の指示や誘導に従って外に出て、一番安全な運動場の端の方へ避難していくことになります。

事務局 補足となりますが、放課後子ども教室だけでなく学童保育についても、放課後子ども教室同様、学童保育の支援員がおりまして避難訓練を毎年行っております。避難訓練については地震の想定が多いのですが、浸水地域ということもありまして、水害想定 of 垂直訓練として、校舎の二階

や三階へと避難するという訓練も実施をしております。

(2) 令和5年度放課後児童健全育成事業計画(案)について(資料2)

事務局説明

質疑

委員

前回の運営委員会で、老人クラブからこういう活動に参加できるとよいと意見を出しました。今、老人クラブでは、老人クラブの意義、つまり、高齢者が地域で集まって自分たちのみで集会をするのではなく、自分たちが積み重ねたキャリアを生かした活動、例えば、学童保育の支援員など、どのようなお手伝いができるかわかりませんが、老人社会福祉の関係で何か出来ないかと考えております。人口の23%が65歳以上ですが、その中で老人クラブに加入している人が少ないので、こういう活動を取り入れて、老人クラブの活性化にも繋げたいと思っています。

事務局 老人クラブに加入されている方の中にみえるかわかりませんが、一部、高齢者の方にも学童保育でお手伝いいただいている方もみえます。また、児童館活動の中で将棋大会などがあるのですが、その中で、将棋クラブの方にご参加いただいて、児童の指導や審判などのお手伝いをいただいたこともございました。

近年、核家族化しているというのは皆さんご承知のことですが、ご高齢の方や地域の方との触れ合いの場も減少しております。放課後子ども総合プランは、そういった地域の方との触れ合いも見越した活動でありますので、引き続き、ご協力をいただけるとありがたいなと思っております。

委員

公民館としての関わりはあまりありませんが、古知野西公民館でいうと学童保育と同じ施設内にあり、その様子がよく見られます。その中で、特別な配慮を必要とする児童の対応に関する研修なども行われていて、やはり配慮を要する子どもに対応する可能性も高いと思うのですが、実際に保育が始まってから、例えば支援員さんから、「加配の対応が必要だ」と言われた場合、加配対応をするのでしょうか。それとも、集団での生活は無理とのことでお断りする方向に進むのか、どちらでしょうか。

事務局 加配であるかどうかの判断は、学童保育の方ではできませんから、保護者の方に、お子さんの状態をお迎えの時に話しをさせていただいて、その中で、例えば放課後デイサービスなどのご案内をさせていただく場合もございます。そのまま学童保育を希望される方もみえますが、他の児童も過ごしておりますので、他者に迷惑をかける行動などがある場合などは、お断りさせていただくこともございます。

委員

実際に指導されている様子を見ると、あの少ない支援員の人数で多くのお子さんを見てくれて、すばらしいなと思っております。来年度は、支援員については継続の方が多いいのか、それとも、新しく採用される方が多いか、また傾向としてはどうなのでしょう。

事務局 大部分はそのまま継続していただくことになります。

委員 欠員が出た場合には、募集をすると結構集まるものなのではないでしょうか。公民館にも募集チラシを置いたり掲示したりしていますが、支援員は足りていない状況なのではないでしょうか。

事務局 現状の学童保育を実施する上では足りてはいますが、支援員をもう少し余裕を持って配置ができると、余裕のある保育ができるのではと思っておりますので、紹介していただけるのであればお願いしたいと思っております。

委員 大体、子ども何人ぐらいに支援員が何人という割合があるのですか。私も子ども相手の教室を開いていますが、子どもは終わっているのに保護者が忙しいのか、なかなか迎えに来ず、そのまま遊びとして滞在している子どもも多くいます。学童保育などでも同様にお迎えが遅かったりするのではないのでしょうか。また、学童保育からそのまま習い事に行く子どもがいるかと思いますが、その場合、学童保育にお迎えに行くのは保護者でなくても、その習い事の先生などでもいいのでしょうか。

事務局 学童保育の中では、支援員と支援員補助員がおりまして、支援員と支援員、支援員と補助員という組み合わせで運営しています。その中で、児童の人数に対する支援員の人数というは40対2で実施しております。学童保育から習い事に通われる方ということですが、全く知らない方に迎えに来ましたと言われましても、引き渡すことはできないのですが、事前に、どこの誰が迎えに来るということをお伝えいただければ、お迎えが可能となります。

委員 学習アドバイザーの職務内容や活動内容など、主にどのようなことをしてみえるのでしょうか。

事務局 学習アドバイザーは、今年度8名おりますが、それぞれの経歴や様々な経験を生かして、子どもたちに色々な遊びを教えてくださいたりしています。読み聞かせや外遊び、縄飛び、昔の遊びなど最近の子ども達があまり知らないような遊びを教えてくださいたり、工作や塗り絵など、それぞれ一人ひとり得意分野が違いますので、特技を生かして子ども達に色々なことを教えていただいているという状況でございます。

委員 学習アドバイザーという名称ですが、学習ということで勉強を教えているのではないのですか。

事務局 放課後子ども教室につきましては、放課後の子ども達の居場所づくりということが一つの目的になっております。学校とは別に、地域の方に講師になっていただいて、学びとは言え、いわゆる教科の学びではなく、体験活動を中心とした学びを提供しておりますので、学習アドバイザーという名称になっております。

なお、学童保育は就労支援となっております。子ども達をお預かりするもので、体験活動をやろうと思ってもなかなか難しいという状況がございまして、実際には、子ども達の遊びを見守る、あるいは一緒に外遊びをするという程度になり、放課後子ども教室とは趣旨が異なるものであります。

(3) 令和5年度放課後子ども総合プラン事業計画(案)について(資料3)

事務局説明

質疑

委員 共通プログラムは具体的には何を行っていたのでしょうか。また、実施にあたり、学習アドバイザーや安全管理員が大変苦勞しているようですが、実施するメリットが何かあるのでしょうか。

事務局 過去の共通プログラムの実施内容でございますが、読み聞かせですとか、屋内で行うゲーム、ドッジボールや大縄跳びなどの外遊び、また、紙芝居やマジック、歌遊びなどを行っておりました。

また、共通プログラムのメリットですが、学童保育の話になりますが、先ほど教育長からも説明がありましたように、学童保育というのは、子どもを預かるということが主な目的になっておりますので、普段、放課後子ども教室に通っている子どもに比べて、こういったプログラムを経験するという数が少なくなります。その点、共通プログラムですと、低学年の子どもたちがこういったプログラムを経験できるということで、大変楽しかったというような感想を子ども達からは聞いております。

委員 共通プログラムの実施についてですが、過去は長期休業中に行われているのか、それとも平日に行ってみえたのでしょうか。また、令和5年度は実施日をどのように設定して行うのでしょうか。

事務局 共通プログラムの実施日ですが過去の実績で申し上げますと、平日の低学年下校の日を選んで実施しておりました。基本的に参加人数が多くなりすぎますと対応が難しくなりますので、平日の低学年下校の日を対象にしておりました。今後、再開するにあたり、実施日につきましては、これまで同様に平日の低学年下校の日を対象として考えております。

事務局 実施については、準備も必要でありますので毎週行うこともできず、月1回ぐらい行っていました。また、放課後子ども教室の方に学童保育の子ども達を呼び一体的に活動をしますので、教室がそれ程広くない中、その中でできる企画を中心に、読み聞かせやゲームなどが中心になっております。来年度につきましても、月1回ぐらい実施できるようになればいいなと思っております。

会長 令和5年度からの放課後子ども総合プラン事業は、今まで実施していなかった草井小学校、布袋北小学校、古知野北小学校の3校も開催するのですか。

事務局 まずは、開催をしたことのある7校で試験的に実施をいたしまして、その結果を踏まえて、まだ実施したことの無い3校で実施をして参りたいと考えております。

事務局 草井小学校、布袋北小学校、古知野北小学校は、過去にまだ1度も共通プログラムしたことがございませんが、この3校は、放課後子ども教

室自体が一斉に始まったのではなく、毎年1校ずつ増やしてきたのですが、この3校の開室とコロナ禍が重なってしまい、共通プログラムを実施することができておりませんでした。

委員 学習アドバイザーや他のスタッフは、ほとんどの人がボランティアでやられているのでしょうか。

事務局 学習アドバイザーに関しましては、有償ボランティアということで報酬をお支払いしております。共通プログラムの方で講師をお招きした場合も、報酬をお支払いしていることもあります。

委員 様々な経験をした方がそれを生かしてやってみえるのでしょうか。それとも、一般の方や父兄などが集まってやってみえるのでしょうか。

事務局 学習アドバイザーをやってみえる方は、元教員でしたり、保育士資格をお持ちの方、あとは自宅でピアノ教室や子どもに何か教えたり、接している仕事をしてみえる方が多いのですけども、子どもと触れ合い、何かを教える経験がしたいということで応募していただいております。市としては、とにかく子どもと接するのが好きな方であれば、ご参加いただけたらと考えております。

委員 読み聞かせやゲームなどの活動をしてみえるとのことですが、活動の幅を広げて、音楽寺など地元の歴史などの話をしてくれる方に講師をしてもらってもいいのではないのでしょうか。また、学校では同学年同士の交流で、塾や習い事でも同学年になりますので、支援員さんは大変だとは思いますが、学童保育や放課後子ども教室のように1年生から6年生まで縦のつながりでの遊びができるのはいいことだと思います。

事務局 先ほどドッジボールや大縄跳び、読み聞かせなどの例をお示しさせていただきましたが、他にもリコーダーの演奏ですとかマジックショー、少し変わったところで詩吟を教えてください、環境教室の講師をお呼びしたりと様々な実績がございます。

また、共通プログラムではないのですが、習字と絵を組み合わせた「己書」の方にもお越しいただき、子ども達も大変楽しんでおりました。こういったことを教えてもらわなければ困るというようなことは、こちらとしてはありませんので、子ども達の学びと遊びの場の中で、子ども達に受けてもらいたいというものがございましたら、提案いただければと思います。

4. 報告

令和5年放課後子ども教室申込状況及び令和5年度学童保育所申込状況について
(参考資料)

事務局説明

質疑 なし